

化学生命工学部

2.DPを含むアセスメント結果の活用

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用
入学時・卒業時・パネル調査	10月～ 1月の間	1年次 3年次 卒業生	教授会での報告を受けて、執行部において議論・検討を行い、カリキュラム改善や学習環境の充実に活用する。
基礎学力調査	4月	1年次	基礎学力の把握と基礎科目のクラス分け、分析・検証
個人面談	3月	1～4年次	成績不振者を含めて、全員に対して毎学期、担任による個人面談を行い、各自の状況を把握する。
成績不振者調査	各学期	1～4年次	単位取得が思わしくない学生の状況を把握、改善を促す。また、学習環境の充実にも活用する。
授業アンケート	年2回	1～4年次	結果のフィードバック、授業改善
シラバスチェック	2月	1～4年次	CPとの整合性、カリキュラムの改善、自己点検・評価
特別研究の評価	2月	4年次	卒業論文と口頭発表により、主体的な態度、及び思考力・判断力・表現力等の能力を多角的に測定・分析し、評価する。
進路状況	学期末	4年次	支援強化、自己点検・評価、情報公開